

宮城県 建築主事 殿

(建築主) 住所

氏名

印

(設計者) 勤務先住所

名称

氏名

印

既存ブロック塀・石塀の安全点検報告書

既存ブロック塀または石塀について、点検した結果は次のとおりです。

なお、この点検により問題のあった項目等については、早急に改善等の処置を行います。

■補強コンクリートブロック塀

| 点検項目 | 判定 | | 安全基準 |
|-----------------------------|---|-----|--|
| | 道路面 | 他の面 | |
| 1. 塀が高すぎないか、また厚みはあるか | 良・否 | 良・否 | 高さは地盤面より 2.2m 以下。 厚さは、高さが 2m を超える場合は 15cm 以上。 |
| 2. コンクリートの基礎はあるか | 良・否 | 良・否 | 基礎の高さは 35cm 以上、根入れ深さは 30cm 以上。 *基礎のないもの、寸法の小さいものは要注意。 |
| 3. 控え壁はあるか | 良・否 | 良・否 | 高さが 1.2m を超える場合、3.4m 以下の間隔が必要。控え壁が塀に接続しているかを確認。*控え壁がないものは要注意。 |
| 4. 擁壁の上に載せているか、または増し積みしているか | 良・否 | 良・否 | 石積み、またはブロック擁壁などの上にあるのは要注意。既設塀の上に積み足すのは、鉄筋がつかないのに要注意。 |
| 5. 老朽化しているか | 良・否 | 良・否 | 20 年以上経過しているかが一つの目安。古い塀は、ブロックの風化、変色の進み脆くなっているのに要注意。 また、内部の鉄筋が腐食している場合もある。 |
| 6. ひび割れ・破損があるか | 良・否 | 良・否 | 目地内の縦横ひび割れの大きなもの、縦横筋の位置に入った長い太いひび割れ（鉄筋の腐食膨張によるもの）、壁面の太い縦・斜めひび割れで基礎までつながっているもの（塀の沈下）は要注意。 |
| 7. 傾斜しているか、またはぐらつきがあるか | 良・否 | 良・否 | 大きく傾いているものは要注意（道路側への傾斜は特に注意）。 押すと大きく揺れるものは、基礎がないか、小さいか、地盤が軟らかいのに要注意。 |
| <参考> 鉄筋が入っているか | 鉄筋のないもの、鉄筋間隔の広いものは要注意。 9mm 以上の鉄筋を縦横に 80cm 以下の間隔で、末端はかぎ掛け。有無について、鉄筋探知機により調査することが望ましい。 | | |

■石塀

| 点検項目 | 判定 | | 安全基準 |
|-----------------------------|-----|-----|---|
| | 道路面 | 他の面 | |
| 1. 塀が高すぎないか、また厚みはあるか | 良・否 | 良・否 | 高さは地盤面より 1.2m 以下。厚みは高さの 1/10 以上。 |
| 2. コンクリートの基礎はあるか | 良・否 | 良・否 | 根入れ深さは 20cm 以上。 *基礎のないもの、小さいもの、石の基礎は要注意。 |
| 3. 控え壁はあるか | 良・否 | 良・否 | 4m 以下の間隔。控え壁が塀に接続しているかを確認。 *控え壁がないものは要注意。 |
| 4. 擁壁の上に載せているか、または増し積みしているか | 良・否 | 良・否 | 既設塀の上に積み足すのは要注意。 |
| 5. 老朽化しているか | 良・否 | 良・否 | 石の表面が変色し、はがれているものは風化が進行しており、老朽化しているのに要注意。 |
| 6. ひび割れ・破損があるか | 良・否 | 良・否 | 壁面の太い縦・斜めのひび割れで基礎までつながっているもの（塀の沈下）は要注意。 |
| 7. 傾斜しているか、またはぐらつきがあるか | 良・否 | 良・否 | 大きく傾いているものは要注意（道路側への傾斜は特に注意）。押すと大きく揺れるものは、基礎がないか、小さいか、地盤が軟らかいのに要注意。 |

(判定欄は該当するものを○で囲むこと)

コンクリートブロックまたは石塀のような私的財産は、所有者の責任において管理することが基本であり、不特定または多数の人が通行する道路に面するものの安全確保は、地域社会の共通する願いです。コンクリートブロックまたは石塀を自己点検し、維持保全に努めましょう。